

5月のイベントカレンダー

日	曜	行事予定
1	月	休館日
2	火	
3	水	休館日
4	木	休館日
5	金	休館日
6	土	
7	日	休館日
8	月	休館日
9	火	
10	水	※13:30 ドイツ語
11	木	18:30 日本語会話教室(夜)
12	金	10:00 日本語会話教室(昼)
13	土	9:00 ファームビジット
14	日	10:00 日本語ひろば 10:00 “あつはな”でおしゃべり 14:00 幹事会
15	月	休館日
16	火	
17	水	※13:30 ドイツ語
18	木	18:30 日本語会話教室(夜)
19	金	10:00 日本語会話教室(昼)
20	土	10:00 英会話サークルFIND 10:00 出張JICAデスク 15:00 高校生ワークショップ
21	日	休館日
22	月	休館日
23	火	
24	水	※13:30 ドイツ語
25	木	14:00 理事会 18:30 日本語会話教室(夜)
26	金	10:00 日本語会話教室(昼)
27	土	13:30 情報紙発送作業
28	日	10:00 日本語ひろば 17:00 AWIA SPORTS+
29	月	休館日
30	火	
31	水	※13:30 ドイツ語

会津で世界と会話しよう！英会話サークルFIND

英語を話したい人が集まって、楽しく英会話を練習します。英語のレベルは問いません。多世代、多国籍の仲間と出会える場です。

日 時 5月20日(土) 10:00～11:30
場 所 会津稽古堂研修室1
定 員 30名 ※参加費無料
申込み 5月19日(金)まで(先着順)



日本語おしゃべりサークル“あつはな”

当協会では、日本語を母語としない人たちが日本語で安心しておしゃべりするサークルを不定期で開催します。あなたも“やさしい日本語”で参加しませんか？日本語を学ぶ場・教える場ではありません。外国出身で、日本語でおしゃべりしたい方がいたら、ぜひご紹介ください。

日 時 5月14日(日) 10:00～11:30
場 所 会津稽古堂研修室1
定 員 30名(日本人定員15名)
申込み 5月12日(金)までに当協会まで



めざせ、グローバル高校生！

会津若松市が企画する、会津地域の高校生のためのグローバル人材育成プログラムです。英語カフェやワークショップ、ブリティッシュヒルズやJICA二本松へ訪問などを予定しています。募集要項や活動の紹介、申込フォームなどの詳細は、下記QRコードより取得してください。

◆参加費 10,000円
◆開校式 7月2日 ◆成果報告会 8月27日
◆英語カフェ 7/7、7/14、7/21 (17:00～19:00)
◆ワークショップ 7/2、7/30、8/3、8/17 (13:00～17:00)
◆申込締切: 5月22日(月)まで



出張JICAデスク in会津

JICA福島デスクの松山さんに、海外協力隊のことや国際的な疑問について自由に質問できます。お気軽にお声がけください。

日 時 5月20日(土)10:00～14:30 場 所 当協会

情報紙発送ボランティア

協会スタッフとボランティアさんで、情報紙の袋づめなどの作業を行います。事前連絡は必要ありません。どなたでも自由にご参加ください。

日 時 5月27日(土)13:30～ 場 所 当協会



会津若松市国際交流協会

〒965-0871 会津若松市栄町2-14

リオン・ドールガーデン5階

TEL: 0242-27-3703 メール: mail@awia.jp

Webサイト: <https://www.awia.jp>

イベントの最新情報をお届けします！



<https://www.facebook.com/awiajp>



AWIA_PHOTO



メール申込み用
QRコードも
ご利用下さい



みなさん4月からの新しい環境には慣れましたか？



- ・2023年度分の年会費を受け付けております。(個人2,000円、学生1,000円)
- ・新年度の異動や進学などで住所変更があった方はお知らせください。
- ・情報紙のメール配布も受け付けております。お気軽にお声がけください。

総会&記念講演会

2023年度 会員総会&記念講演会 6月3日(土)14:00～

今年度の総会を右記の通り開催します。ご多用とは存じますが、ぜひご出席ください。会員の皆さまには、5月中旬に往復はがきをお送りします。5月26日(金)までに欠席のご返信をお願いします。記念講演会の詳しい内容については2頁をご覧ください。総会、記念講演会の参加費は無料、懇親会の会費は4,000円(学生3,000円)です。

場 所 会津稽古堂3階 研修室2, 3
◆会員総会 14:00～15:15
◆記念講演会 15:30～17:15 ※講演会は会員外の方も可。申込み6/2まで
タイトル 「これからの会津若松と多文化共生
～世界とつながり外国人とともに拓く地域の未来～」
講 師 田村 太郎氏((一財)ダイバーシティ研究所代表理事)
◆懇親会 18:00～20:00
場 所 スペイン料理 会津バル(大町1-9-5 石川ビル 1F)

◆6月3日(土)午後13:00より、会員総会のため協会事務所を臨時閉館いたします。

ワークショップ

高校生の国際ゼミ「世界とわたし」～知る・考える・行動する～

JICA福島デスク松山さんの協力です。テーマの決定と進行を高校生が行い、世界の課題(SDGsなど)について自分の考えを伝えるスキルを高めます。合言葉は“成功の反対は失敗ではなく何もしないこと”。他校生と交流したい人や、視野を広げたい人も、ぜひ参加して！

日 時 5月～8月の土曜日15:00～17:00
全5回 ①5/20、②6/10、③7/8、
④8/5、⑤8/19
場 所 当協会事務所
参加費 無料
対 象 高校生会員(学生会費1,000円)
定 員 8名
申込み 5月19日(金)まで右記QRコードより

申込フォーム



国際交流スポーツ

国際交流スポーツサークル AWIA sports+

スポーツをしながら国際交流をしませんか？昨年7月に協会のスポーツサークルが惜しくも終了しましたが、新たに「AWIA sports+(スポーツプラス)」として復活します！第1回目はドッジビー。体を動かすのが好きな方、多言語で交流したい方はぜひ参加してください。年3回を目安に活動し、各回ごとに参加者を募集します。※体調不良の方は参加をお断りすることがあります。

日 時 5月28日(日)17:00～19:30
場 所 鶴ヶ城体育館
対 象 18歳以上
定 員 30名(会員限定、当日入会歓迎)
参加費 100円(保険料として)
持ち物 運動できる上靴、飲み物
申込み 5月25日(木)までに当協会へ
右記QRコードをご利用下さい。



申込フォーム



日本語ボランティア

日本語の教え方を学んで 日本語ボランティアになろう

外国人住民に日本語を教えるボランティアとして、活動したい方のための講座です。日本語の初級総合教科書を使って、文法を中心に解説します。最後に、参加者に模擬授業をしていただきます。興味のある方はお気軽にお問合せください。

日 時 5月13日～7月1日の土日。
詳しい日程は4月25日以降にお問い合わせください。
場 所 会津稽古堂3階 研修室
講 師 福西 依子さん(当協会日本語ボランティア)
受講料 無料(会員登録が必要です。登録費2,000円)
申込み 5月12日(金)までに当協会へ

総会記念講演会をお楽しみに！

会津若松市には約50カ国からおよそ950人（4月1日、市のデータ）の外国籍の方が暮らしています。私たちの街は彼らにとって暮らしやすい街でしょうか？地域の未来を真剣に考えるとき、私たちは“外国人”とどう向き合えばよいのでしょうか？

誰もが会津に住んでよかったと思えるような地域になれるよう、わたしたちのこれからの“多文化共生”の街づくりについて、講師の田村さんとともに考えてみませんか。

講演演題 「これからの会津若松と多文化共生 ～世界とつながり外国人とともに拓く地域の未来～」

講師 田村 太郎 氏
(一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事)

講師プロフィール

兵庫県生まれ。阪神大震災直後に外国人被災者へ情報を提供する「外国人地震情報センター」の設立に参加。同年10月、「多文化共生センター」への組織変更に伴い事務局長に。04年3月まで代表を務める。06年度より地域ごとに独立して活動を継続。07年に「ダイバーシティ研究所」を設立。代表として企業の社会責任や自治体施策を通じたダイバーシティの推進に活動を拡げる。東日本大震災直後に内閣官房企画官に就任し、現在も復興庁・復興推進参与として東北復興にも携わる。※当講演会は（一財）自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー派遣制度を活用しています。



ホストファミリーは楽しい！

20家庭の皆さんへ
ホームステイの受け入れ
ご協力に感謝！

3月3日～5日までの2泊3日、当協会ではアメリカの大学生20名のホームステイを受け入れました。2019年の秋以来3年半ぶりの受け入れで、引き受けて下さる家庭があるのか不安でした。おそろおそろ募集したところ、予想を超える数のお申込みをいただき、10件近くのお断りやキャンセル待ちをお願いするほどでした。感染症の不安に加え、久しぶりの受け入れということで、事務局では新たに『ホストファミリーの手引き』を作成したり、新規ホストファミリー説明会を開くなど気合いを入れて臨みました。お手伝いして下さったボランティアの皆さんには心より感謝いたします。アンケートでは全てのファミリーから「今後もホームステイを引き受けたい」という回答をいただきました。

ホストファミリーに興味がある方はぜひ、ご相談ください。『ホストファミリーの手引き』には、2泊3日のスケジュール事例ものっています。参考にしたい方はお気軽にお声がけください。



最終日の朝9時前、会津若松駅で学生たちを見送り、別れを惜しましました。

ファミリーの感想より

普段の生活から突然異文化の生活が始まる感じで、変化があって良かった。スマホの音声翻訳アプリが大活躍した。

靴をそろえ、帰りには布団がきちんと整理されており、タオルも貸した時のようにたたまれていて感動しました。

ノースカロライナ大学
シャーロット校より
学生20人がホームステイ！

会津に家族ができました！



ホームステイを体験したアメリカの大学生が感想を寄せてくれました。事務局で翻訳しましたが、英語の原文が読みたい方は英語の情報紙「SynthesAizu」をご覧ください。

“Here” became home ここが家になった

ケイティー ガンゼンハウザー (Katie Gunzenhauser)さん ■ 菊地ファミリーへ



私たちはアメリカの大学生による、「日本に将軍がいた時代を学ぶ10日間の旅」の最終目的地が会津若松市でした。興奮と緊張でいっぱい私たちは、ホストファミリーに温かく迎えられ、日本庭園や池、神社や寺院、酒蔵やラーメン屋、家庭料理の夕食などの体験の渦の中に解き放されました。私たちは書道や茶道を体験し、着物や浴衣を着て、家族のお気に入りのレストランや街のホットスポットを楽しみました。日本語と英語、そしてGoogle翻訳を駆使してお互いを知り、共通の趣味について語りあいました。この体験を通して私たちは、異なる家族と暮らすことや訪問客を受け入れることは、お互いのユニークな生活スタイルや文化を真の意味で理解する、とても良い方法だと知ったのです。

菊地さん一家と私は、出会ってすぐに友情を超えた、家族のような絆で結ばれました。初めて泊まった夜、インコのピーちゃんですえも私の肩に飛び乗り、大きな鳴き声で歓迎してくれました。一番年が近い、賢い長女のはなさんには、大人の階段を上る同世代としての親しみを感じました。妹のまこさんは活発で、一緒にいると自然に明るい気持ちになりました。お母さんは控えめで優しく、お父さんは外向的で快活な方でし

た。進学のため離れて暮らしている息子さんや、東京で暮らすご両親ともビデオ通話し、温かい歓迎を受けました。菊地家はみんな元気で愛にあふれ、私はすぐに打ち解けることができました。私が知る限り、仲間の学生たちもみんな、たった2日間の滞在にも関わらず同じように、ホストファミリーとの間に愛情に満ちた温かい交流を持ち、居心地よく過ごすことができました。

東京への帰りの列車では誰もが、ホームステイがあまりにも早く終わってしまったことを残念がり、またここに戻ってくるだろうと感じていました。会津若松市国際交流協会や地域の方々のおかげで、私たちの日本の最終日は、期待していた以上に充実したものになりました。なんと美しい友人たちで満たされた、なんと美しい街でしょう！私たちはみな、近いうちにまた会えることを願っています。



福島県の山奥に、私の第二の故郷があります

エマ ワイカル(Emma Wical)さん ■ 宮崎ファミリーへ



福島県の山奥に、私の第二の故郷があります。会津若松市というその静かな街で、私は初めて“私は外人だ”と意識しました。でもその感覚は宮崎家に着き、玄関を何度かくぐるうちに消えていきました。

私のホストファミリーの宮崎かなさん、夫の伊一朗さん、そして2歳のだいちゃんに初めて会ったのは、3月3日の夕方でした。かなさんは私のために、桜の花を背景にピンクと青の文字が浮き出たウェルカムボードを作って迎えてくれました。だいちゃんは床に座り、自分のリュックからおもちゃの車やトラックなど全部取り出して、私に見せてくれました。私はそれらを見ながら、伊一朗さんにひたすらお辞儀をしていたのを覚えています。私はだいちゃんに、大きな柴犬のぬいぐるみをプレゼントしました。だいちゃんは翌日からの私たちの冒険のあいだ中、ずっと柴犬のぬいぐるみを持ち歩いてくれました。このように、宮崎さん一家の私への親切心は山のように大きく、今でも私の心に残っています。

伊一朗さんと私は“イチゴ好き”という共通点があったので、かなさんは朝食に毎回いちごを出してくれました。私は伊一朗さんが夕食を作るのを手伝いましたが、それは今まで食べた中で一番美味しい夕食だといえるものでした。かな

さんは私に、着物の試着やお茶のお稽古をさせてくれ、お寺めぐりにつれて行ってくれました。一日の冒険の最後には、一緒に銭湯に行きました。私はかなさんとの間に、これからずっと続く友情を築けたと思っています。

アメリカに戻ってから、私は宮崎夫妻に手紙を出しました。かなさんのインスタグラムもフォローしています。大学では日本語を勉強し、つぎに日本に行く時には彼らと十分に話せるように頑張っています。その頃には小さなだいちゃんも成長して、私のイチゴを勝手に持っていったりはしないでしょうね(笑)。私もだいちゃんと日本語でたくさん話せるようになるといいなと思っています。今後も私は、大好きな宮崎ファミリーに会いに帰るでしょう。大切な人にはときどき会って、元気な様子を確認するのが大事だと信じているからです。

